



2016年3月期 決算説明会

2016年5月10日

JASDAQ: 6467

株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

<http://www.nichidai.jp/>

ネットシェイプ事業

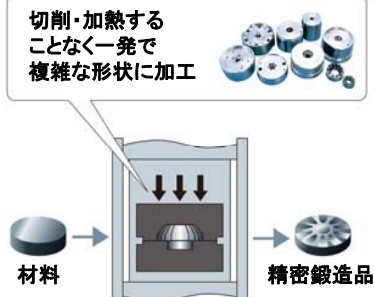
◆金型◆

・金型生産、開発から部品製造までのトータルエンジニアリングを提案・提供。

◆精密鍛造品◆

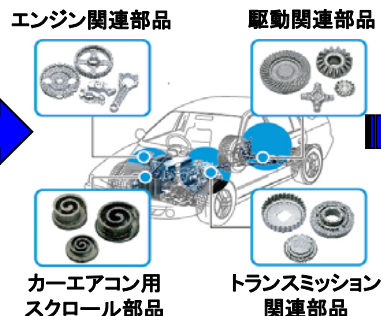
・金型技術を活かした付加価値の高い部品の提供。

ネットシェイプ用の精密鍛造金型を設計・製造



部品メーカー(顧客)が精密鍛造金型を使って自動車用部品を生産

(一部当社でも生産)



主に自動車産業

【金型】

・国内の全自動車メーカー系列企業。
・海外の自動車部品メーカーとの取引も増加。

【精密鍛造品】

・自動車部品メーカー
(主製品はスクロール鍛造品)

アッセンブリ事業

・ターボチャージャー部品の組立。
主力はVGターボチャージャー部品。

・国内およびタイ工場で組立て、顧客企業の現地調達ニーズに対応。



納入先メーカー(三菱重工業株式会社)でターボチャージャーの一部に組み込まれる



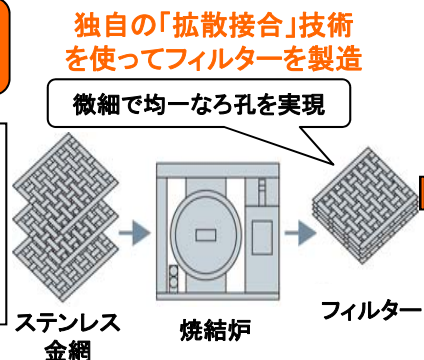
自動車産業

全世界の自動車メーカー

フィルタ事業

・複数のステンレス金網を一体構造化した積層焼結フィルターの生産。

・フィルターの洗浄・再生サービス。



顧客メーカーの用途に応じて各種フィルター形状に加工



各種メーカー

石油、ガス、化学、
繊維、食品、
航空宇宙産業 など

ネットシェイプ事業

単独

ニチダイ (ND)

宇治田原工場



スクロール鍛造品



精密鍛造金型

- 精密鍛造金型の生産拠点。
- 約30名の開発人員を持つ。
- 鍛造プレスを保有。鍛造品の生産も行う。

アッセンブリ事業

京田辺工場



VGターボ
チャージャー部品

- 国内におけるターボチャージャー部品の生産拠点。
- 平成27年に宇治田原工場より京田辺工場に移転。

フィルタ事業

ニチダイフィルタ (NFC)

宇治田原工場



積層焼結金網
フィルター

- 国内の開発・生産拠点。
- 焼結炉を5基保有。

海外拠点

ニチダイ アジア (NDA)

◆タイに立地する
金型販売拠点。

ニチダイ USA (NUC)

◆米国オハイオ州に
ある金型販売拠点。

ニチダイタイランド (NDT)

◆タイ・バンコク近郊にある海外子会社。ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業双方におけるアジアの戦略拠点。

ネットシェイプ事業

- ・エアコン用スクロールコンプレッサー部品の生産。
- ・精密鍛造金型の生産

アッセンブリ事業

- ・ターボチャージャー部品の製造販売
(海外ユーザー向け)

タイ・シタート・メッシュ (TSM)



◆タイ北部・チェンマイ近郊に立地するフィルターの生産拠点。石油掘削用フィルターが主製品。焼結炉を5基保有。

I .16/3期実績

I .16/3期実績 — P/L: 売上・利益の状況 —

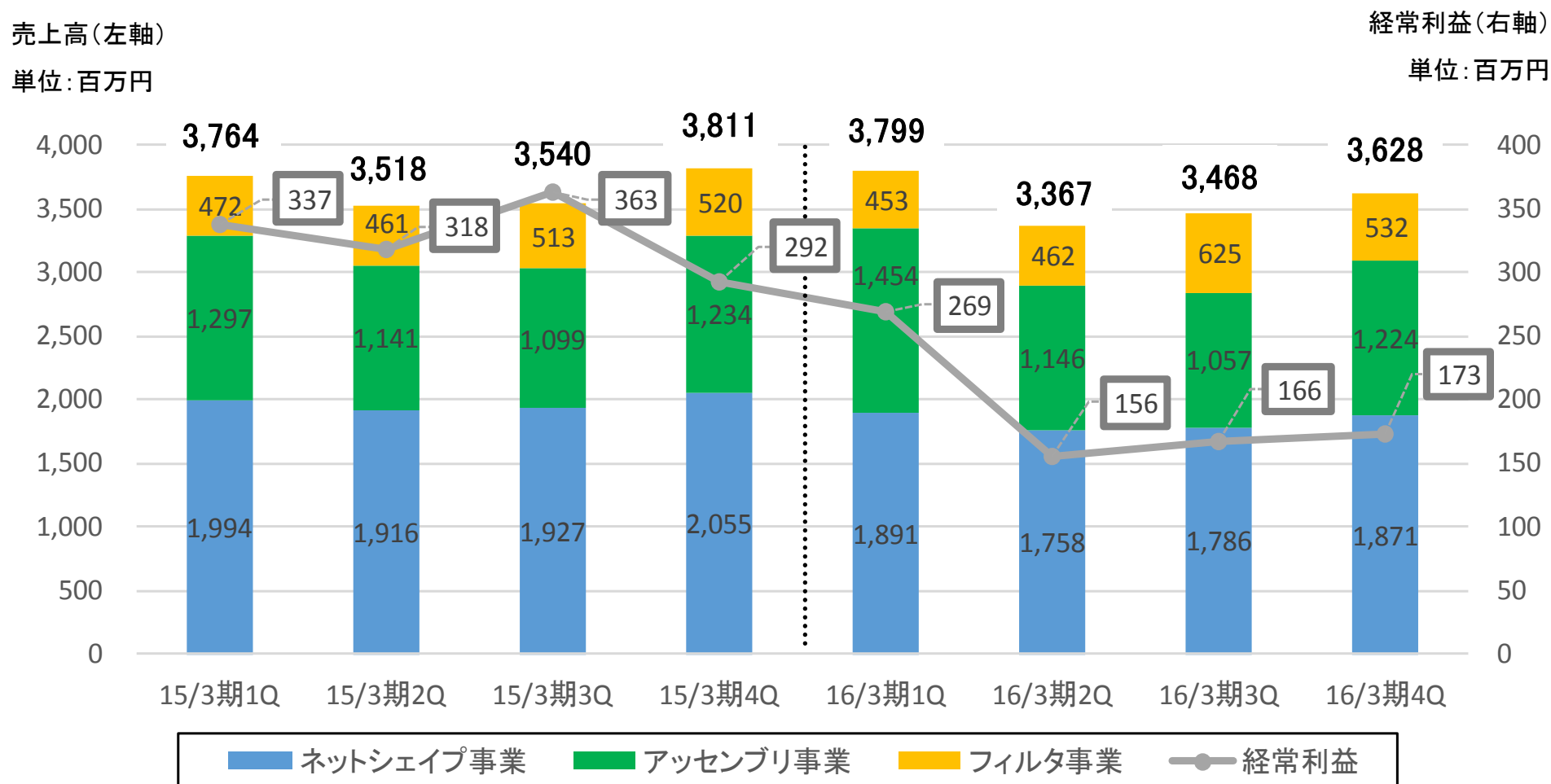
単位: 百万円

	15/3 実績 14/4-15/3	16/3 修正計画 15/4-16/3 15年10月発表	16/3 実績 15/4-16/3	伸び率
売上高	14,635	14,400	14,264	△ 2.5%
売上総利益	3,388	2,970	2,923	△ 13.7%
販売管理費	2,118	2,050	2,094	△ 1.1%
営業利益	1,269	920	828	△ 34.8%
営業外損益	△ 41	30	62	—
経常利益	1,311	890	766	△ 41.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	875	580	485	△ 44.5%

* 百万円未満切り捨て。

I .16/3期実績 — 四半期別業績推移 —

- ▶ 第2四半期から、売上高の水準が低下。
ネットシェイプ事業およびアッセンブリ事業の売上減の影響。
- ▶ 上記理由により、利益も低水準で推移。



※棒グラフ上方数値は、連結売上高

I .16/3期実績 — 事業別売上高の状況 —

単位：百万円

事業	15/3 通期実績 14/4-15/3	16/3 修正計画 15/4-16/3 15年10月発表	16/3 通期実績 15/4-16/3	伸び率
ネットシェイプ	7,894	7,400	7,307	△ 7.4%
アッセンブリ	4,772	4,850	4,882	2.3%
フィルタ	1,968	2,150	2,074	5.4%
連結計	14,635	14,400	14,264	△ 2.5%

▶金型部門：
 ・国内市場にばらつきが生じたことにより国内向けの売上が低迷。
 ▶精密鍛造品部門：
 ・海外生産が増加し、前年と同水準で推移。

▶海外子会社連結時の為替レート変動の影響。

▶大型海水ストレーナーの生産増などにより増加。

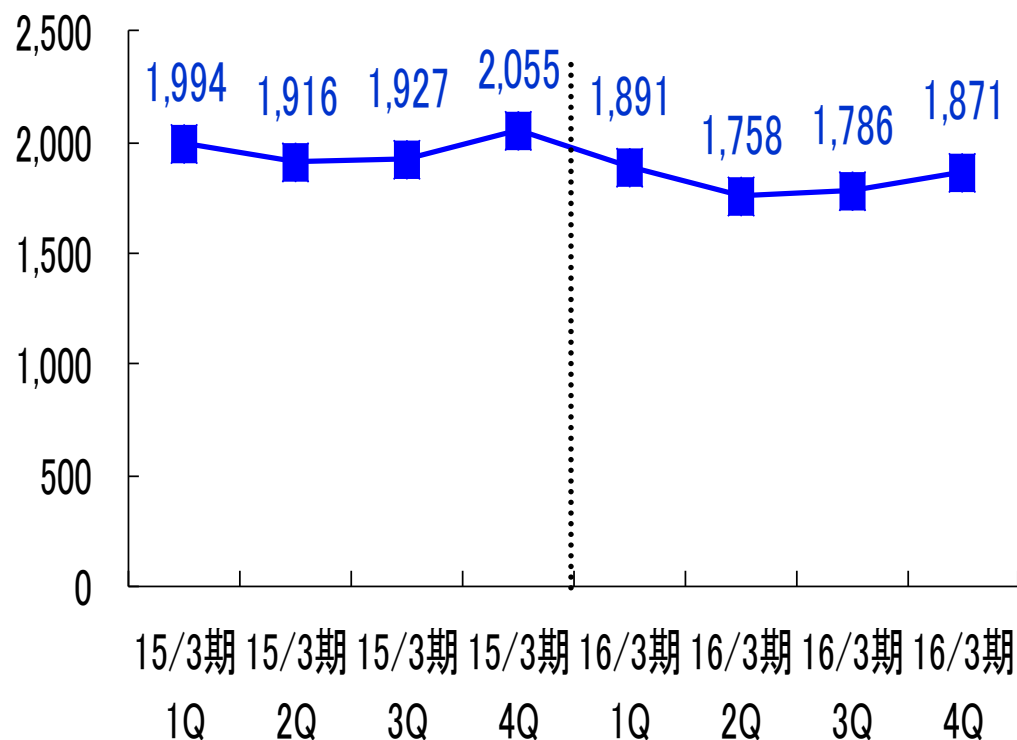
* 百万円未満切り捨て。

I .16/3期実績 — ネットシェイプ事業概況—

- **金型部門:** (国内) 下半期も引き続き、国内市場にばらつきが生じたことにより売上が低迷。
(海外) 中国・韓国向けは減少したものの、インドにおける日系メーカー向けが増加。
- **精密鍛造品部門:** 海外生産の増加により、前年と同水準で推移。

ネットシェイプ事業売上高推移

単位: 百万円



国内外別売上高推移

単位: 百万円

	15/3 実績	16/3 実績	伸び率
金型(国内)	4,753	4,151	△ 12.7%
金型(海外)	1,391	1,450	4.2%
金型計	6,144	5,601	△ 8.8%
精鍛(国内)	1,112	833	△ 25.1%
精鍛(海外)	637	953	49.6%
精鍛計 ^{※1}	1,749	1,787	2.2%
ネットシェイプ計	7,894	7,307	△ 7.4%

※1 精鍛計は、国内外の単純合算の数値

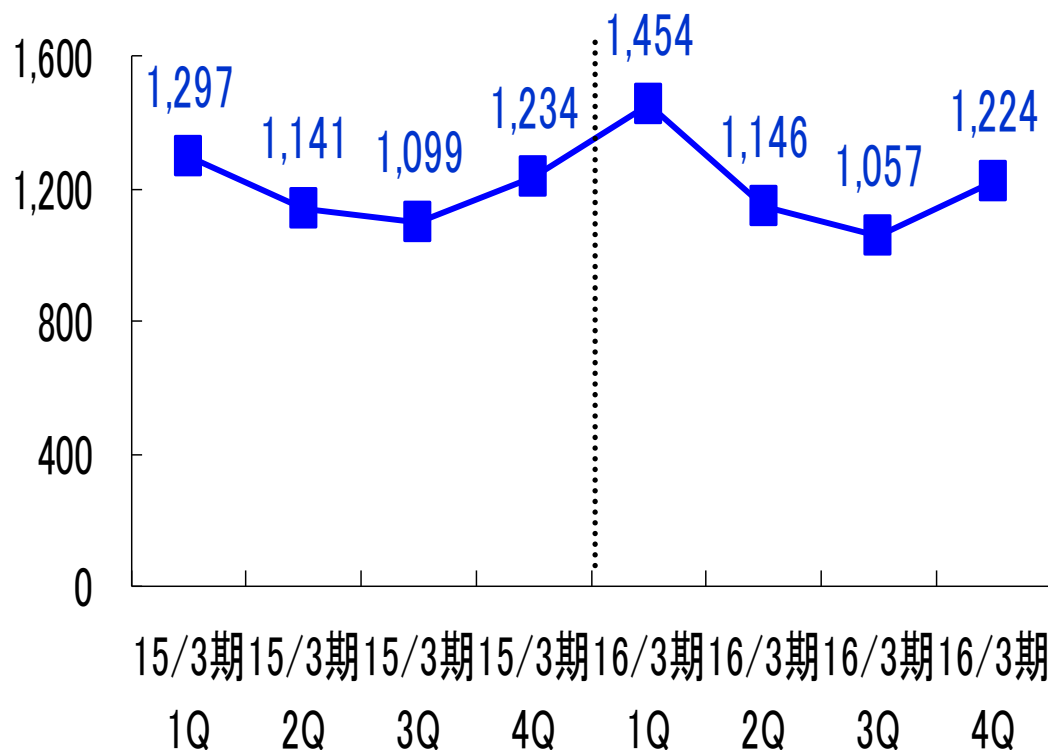
* 百万円未満切り捨て。

I .16/3期実績 — アッセンブリ事業概況 —

- モデルチェンジの影響により従来機種のVGターボチャージャー部品が大幅に減少。
- 売上高増は、海外子会社連結時の為替レート変動によるもの。実質売上高は減少。
- 新規機種は期初計画に届かないものの増加。
(ガソリンエンジン車向けターボチャージャー部品も含む)

アッセンブリ事業売上高推移

単位:百万円



国内外別売上高推移

単位:百万円

	15/3 実績	16/3 実績	伸び率
国内	2,355	2,102	△ 10.7%
海外	2,417	2,780	15.0%
総合計	4,772	4,882	2.3%

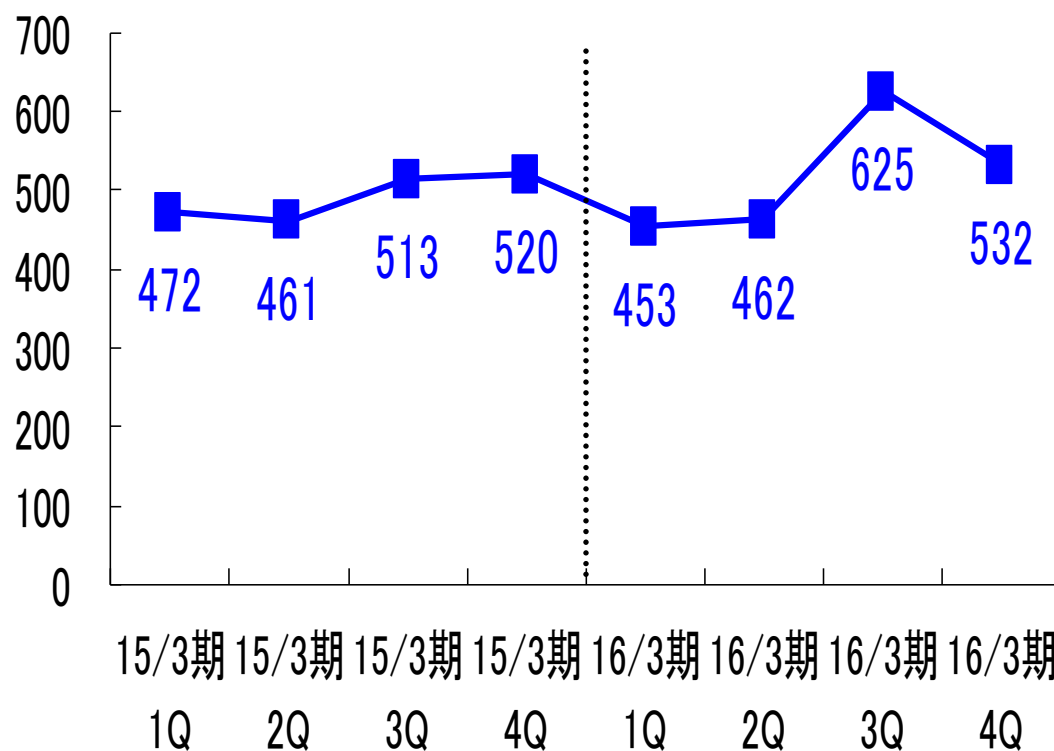
* 百万円未満切り捨て。

I .16/3期実績 — フィルタ事業概況 —

- 大型海水ストレーナーなどの増加により国内売上が増加。
- TSMの石油掘削用フィルター、輸出用フィルターの減少により、海外向けの売上が減少。

フィルタ事業売上高推移

単位:百万円



国内外別売上高推移

単位:百万円

	15/3 実績	16/3 実績	伸び率
国内	1,182	1,494	26.3%
海外	785	580	△ 26.1%
総合計	1,968	2,074	5.4%

* 百万円未満切り捨て。

単位：百万円

	15/3			16/3		
	売上高	経常利益	利益率	売上高	経常利益	利益率
ネットシェイプ	7,894	618	7.8%	7,307	345	4.7%
アッセンブリ	4,772	298	6.3%	4,882	97	2.0%
フィルタ	1,968	395	20.1%	2,074	322	15.6%
連結計	14,635	1,311	9.0%	14,264	766	5.4%

➤ 金型部門の売上減により減益。

➤ 国内における生産減により収益性が大幅に悪化。

➤ 製品ミックスの影響などにより減益。

I .16/3期実績 — 売上原価 —

単位:百万円

	15/3 実績	比率	16/3 実績	比率
売上高	14,635	100.0%	14,264	100.0%
材料費	4,876	33.3%	4,830	33.9%
製品仕入	745	5.1%	709	5.0%
外注加工費	1,331	9.1%	1,245	8.7%
補助材料費	505	3.5%	456	3.2%
人件費	2,500	17.1%	2,483	17.4%
減価償却費	755	5.2%	816	5.7%
在庫増減	189	1.3%	△ 22	△ 0.2%
その他	721	4.9%	776	5.4%
売上原価	11,246	76.8%	11,341	79.5%
売上総利益	3,388	23.2%	2,923	20.5%

* 百万円未満切り捨て。

単位:百万円

	15/3 実績	比率	16/3 実績	比率
売上高	14,635	100.0%	14,264	100.0%
荷造・運賃	170	1.2%	155	1.1%
旅費交通費	122	0.8%	129	0.9%
人件費	1,042	7.1%	1,028	7.2%
減価償却費	124	0.8%	153	1.1%
賃借料	59	0.4%	62	0.4%
その他	600	4.1%	564	4.0%
販売・管理費	2,118	14.5%	2,094	14.7%

* 百万円未満切り捨て。

単位:百万円

	15/3 実績	16/3 実績	増減
現金預金	2,424	2,073	△ 351
受取手形	785	744	△ 41
売掛金	2,892	3,054	161
たな卸資産	2,556	2,523	△ 32
その他	143	130	△ 12
貸倒引当金	△ 1	△ 1	0
流動資産計	8,800	8,524	△ 275
有形固定資産	7,188	6,883	△ 304
無形固定資産	111	95	△ 15
投資その他の資産	231	260	29
固定資産計	7,531	7,239	△ 291
資産合計	16,331	15,764	△ 567

* 百万円未満切り捨て。

I .16/3期実績 — B/S:負債・純資産の状況 —

単位:百万円

	15/3 実績	16/3 実績	増減
買掛金	1,622	1,318	△ 304
短期借入金	1,897	1,575	△ 322
未払法人税等	114	71	△ 43
賞与引当金	141	147	5
その他	764	915	151
流動負債計	4,540	4,027	△ 512
長期借入金	943	935	△ 7
その他	521	475	△ 46
固定負債計	1,464	1,410	△ 53
負債計	6,004	5,438	△ 566
資本金	1,429	1,429	0
資本剰余金	1,192	1,192	0
利益剰余金	6,395	6,681	286
非支配株主持分	900	927	26
その他	408	93	△ 314
純資産計	10,327	10,326	△ 1
負債・純資産合計	16,331	15,764	△ 567

その他
 ➤ 為替換算調整額が減少。

* 百万円未満切り捨て。

単位：百万円

	15/3	16/3	増減
営業活動によるCF	1,475	1,074	△ 400
投資活動によるCF	△ 926	△ 692	233
財務活動によるCF	△ 174	△ 664	△ 489
現金及び現金同等物の増減額	486	△ 351	△ 838
現金及び現金同等物の期首残高	1,830	2,316	486
現金及び現金同等物の期末残高	2,316	1,964	△ 351
FCF	548	382	△ 166

* 百万円未満切り捨て。

Ⅱ. 中期経営戦略の進捗状況

トピックス

- ・2017年3月期は、ニチダイ設立50周年にあたる。
- ・新執行役員を選任。新体制に本格移行。
- ・次年度より、減価償却方法を定率法から定額法へ変更。

次の成長フェーズに向けての取り組み

- ・ネットシェイプ事業の開発能力強化。
市場領域拡大に向け、大型投資を実施。
- ・フィルタ事業における量産製品の開発推進。

Ⅱ. 中期経営戦略の進捗状況 ～ネットシェイプ事業における技術開発戦略のスキームと新規プレス機の導入

ネットシェイプ事業における技術開発戦略のスキーム

技術トレンド

パワートレインの
変化に伴う、
電動化部品の増大

車体軽量化に伴う、
新形状、新素材に
関する部品開発

より複雑な形状の
部品成形に対する
要求増大

開発例



小型ローター部品
厚板増肉技術の蓄積



中空部品
背圧技術を活かした
長軸部品の成形

事業戦略レベル

・トータルエンジニアリングサービスの再強化

精密鍛造金型分野
新規品開発領域の
拡充による受注拡大

部門間連携

精密鍛造品分野
独自技術を活かした
量産製品の開拓

コア技術レベル

・ネットシェイプ技術関連の技術開発能力向上

3工程複動プレス
金型開発のスピード化

位置荷重制御
高精度製品への対応

研究開発領域
の拡大

新規プレスの概要

・名称:NFD1000 (1,000トンプレス)

・投資額 約4億円

・特長

1. 3工程独立スライドによる高精度成形と開発効率化の実現
2. 位置荷重制御の高精度化
3. サーボポンプによる省エネルギーの実現

NFD:

NICHIDAI(ニチダイ)

FORGING(鍛造)

FUTURE(未来)

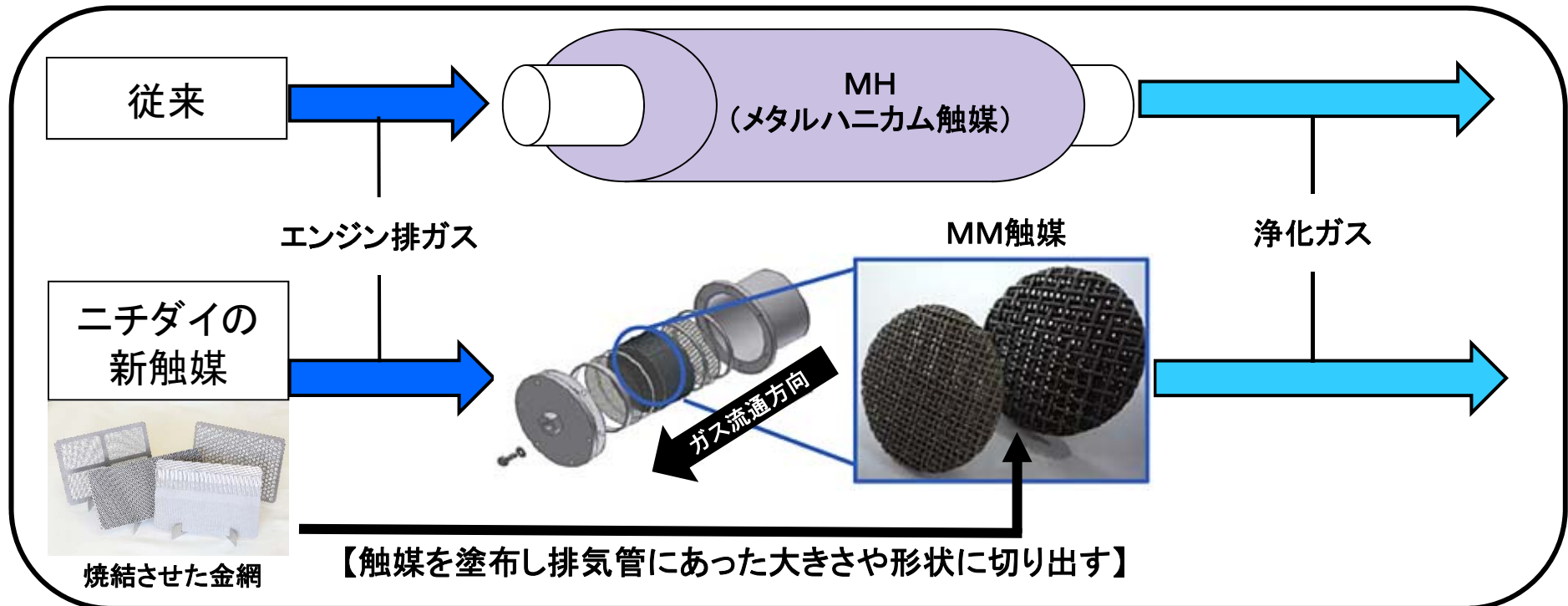
DREAM(夢)

上記の頭文字を示しています。
「ニチダイから鍛造が広がる夢の
実現」の意味を含め、この名称を
つけました。

NFD1000の導入効果

Ⅱ. 中期経営戦略の進捗状況 ～フィルタ事業におけるMM(メタルメッシュ)触媒フィルタの開発

MM触媒フィルタ(二輪車用排ガス浄化装置の概要)



MM触媒: 複数枚の金網を積層した素材に新たなノウハウを加え、貴金属などの触媒物質を担持させたもの。

- ・MH触媒と比べ、ガス流との接触効率が良く、反応に必要な触媒体積を削減しコンパクト化が可能。
- ・二輪車用排ガス浄化装置への搭載を目指す。

Ⅲ.17/3期計画

単位:百万円

	16/3 実績 15/4-16/3	17/3 計画 16/4-17/3	伸び率
売上高	14,264	14,000	△ 1.9%
売上総利益	2,923	2,975	1.8%
販売管理費	2,094	2,090	△ 0.2%
営業利益	828	885	6.9%
営業外損益	62	15	—
経常利益	766	870	13.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	485	575	18.4%

* 百万円未満切り捨て。

Ⅲ.17/3期計画 — 事業別売上高 —

単位：百万円

事業	16/3 通期実績 15/4-16/3	17/3 通期計画 16/4-17/3	伸び率
ネットシェイプ	7,307	7,100	△ 2.8%
アッセンブリ	4,882	4,900	0.4%
フィルタ	2,074	2,000	△ 3.6%
連結計	14,264	14,000	△ 1.9%

金型部門：

・新規品獲得や海外向けなどで
売上高増を見込む。

精密鍛造品部門：

・アッセンブリ事業向けの部品内製
が増加し売上高が減少。

稼動は前期並みになる見込み。

・VGターボチャージャー部品は

前年に引き続き低水準になる予定。

・ガソリンエンジン車向けターボ

チャージャー部品の増加を見込む。

・国内は前年と同水準で推移。

石油掘削用フィルターの減少を
見込む。

* 百万円未満切り捨て。

単位：百万円

	11/3 実績	12/3 実績	13/3 実績	14/3 実績	15/3 実績	16/3 実績	17/3 計画
設備投資額	372	627	1,605	1,290	1,313	774	1,580
減価償却費	532	539	602	764	879	970	836

* 百万円未満切り捨て。

※2017年3月期より減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

減価償却方法の変更の影響額は約170百万円になります。

IV. 配当について

IV. 配当について

	第2四半期末	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭
13年3月期	8.00	8.00	16.00
14年3月期	8.00	10.00 (普通配当8.00) (特別配当2.00)	18.00 (普通配当16.00) (特別配当2.00)
15年3月期	8.00	12.00	20.00
16年3月期	10.00	10.00(予想)	20.00(予想)
17年3月期(予想)	10.00	10.00	20.00

本日は、ありがとうございました。

株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

- ・ 本資料は、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。
- ・ 従いまして、様々な不確定要素が内在しており、結果的には実績が見通しと異なる場合があります。

IR窓口：経営企画室／紺野

Tel : 0774-62-3485

Fax : 0774-65-2301

E-mail : konno@nichidai.co.jp

テーマ	2016年3月期の状況	2017年3月期の見通し	今後の方向性
海外展開の強化	<p>金型部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日系メーカー向けの売上高増などにより、海外売上高が増加。 ・NDT:当初計画は未達に終わっているものの、確実に生産高を増やしている状況。 <p>精密鍛造品部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内売上高は減少する一方、海外生産が増加し、全体では前年並みの売上高で推移。 	<p>金型部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア地域における売上高が増加する見込み。 ・NDT:生産品種を拡大し、タイにおける拡販につなげる。 <p>精密鍛造品部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NDTにおけるスクロール鍛造品の生産は前年と同水準で推移する見込み。 	<p>金型部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外進出を積極化している日系メーカーに対し、国内外の拠点の連携をとることで対応。 ・タイ NDTにおける生産品種を拡大し、タイ及び近隣地域における日系メーカーへの対応を強化する。 ・中国、韓国地域 引き続き、技術力強化を進めるローカルメーカーと協調し、拡販に努める。 <p>精密鍛造品部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存製品は、ほぼ横ばいで推移する見込み。
新規事業技術開発	<ul style="list-style-type: none"> ・金型部門にて、中空工法、厚板増肉技術を使用する小型ローター部品等新規開発を継続。量産部品生産を意識した開発を進める。 	<p>金型部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規プレス導入により、現状進めている開発案件のスピード化を図る。引き続き、中空工法、厚板増肉技術などの開発を推進。 <p>精密鍛造品部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規量産事業の立ち上げを模索。 	<p>金型部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金型部門で行っている技術開発のシーズを国内外の新規金型需要開拓へ活用すべく、技術開発を推進。新規プレスをフルに活用し、開発領域の拡大を目指す。 <p>精密鍛造品部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発中の塑性加工技術を活かした新規事業の立ち上げを目指す。

テーマ	2016年3月期の状況	2017年3月期の見通し	今後の方向性
QDCのさらなる改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンエンジン車用ターボチャージャー部品など新規機種が増加したものの、既存機種の減少幅をカバーできず、国内売上高が減少。収益性が悪化している状況。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き国内売上高が低迷する見込み。 ・構成部品の内製生産の効率化を進める施策を推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年3月期以降の新機種増加に向け効率性を追求する。 ・構成部品の内製生産効率化など各種コスト削減策を継続。 ・たな卸資産削減を伴う資産効率性を考慮した施策を実行。
海外展開の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・海外生産は、ほぼ同水準で推移。売上高増は、為替換算の影響。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディーゼルエンジン車用ターボチャージャー部品の減少をガソリンエンジン車用ターボチャージャー部品でカバーしていく見込み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2017年度以降の新機種の立ち上がりを見込む。
新規事業技術開発	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンエンジン車用ターボチャージャー部品の生産が新規に増加。ネットシェイプ事業で行っている構成部品内製生産が増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンエンジン車用ターボチャージャー部品の構成部品内製の効率化の推進。 ・アッセンブリ事業の国内の開発部門は、新規品獲得のためのバックアップを継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アッセンブリ事業の国内部門をマザー工場として位置づけ、開発部門を強化。 ・塑性加工技術を活用した構成部品内製化や新規品獲得を進めていく予定。

テーマ	2016年3月期の状況	2017年3月期の見通し	今後の方向性
海外展開の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・前年増加した輸出製品が減少。 ・TSMIにおける石油掘削用フィルターが前年対比で減少。 	<ul style="list-style-type: none"> ・TSMの石油掘削用フィルターに関しては、引き続き低水準で推移する見込み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・TSMIにおける量産事業の拡大を目指す。
新規事業技術開発	<ul style="list-style-type: none"> ・大型海水ストレーナーの売上が増加。 ・MM(メタルメッシュ)触媒フィルター:二輪車向け排ガス浄化装置への搭載を念頭に開発を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・MM(メタルメッシュ)触媒フィルターの実用化に向けての動きを加速。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィルタ事業のコア技術となる拡散接合技術を中心に、新用途の拡大に努める。
QDCのさらなる改善	<ul style="list-style-type: none"> ・量産品が増加したことなどにより、製品構成に変化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型海水ストレーナーの生産が同水準で推移する見込み。生産性向上策を推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア地域における量産製品を増加させる方針を進める。 ・量産品の生産性向上策を継続。